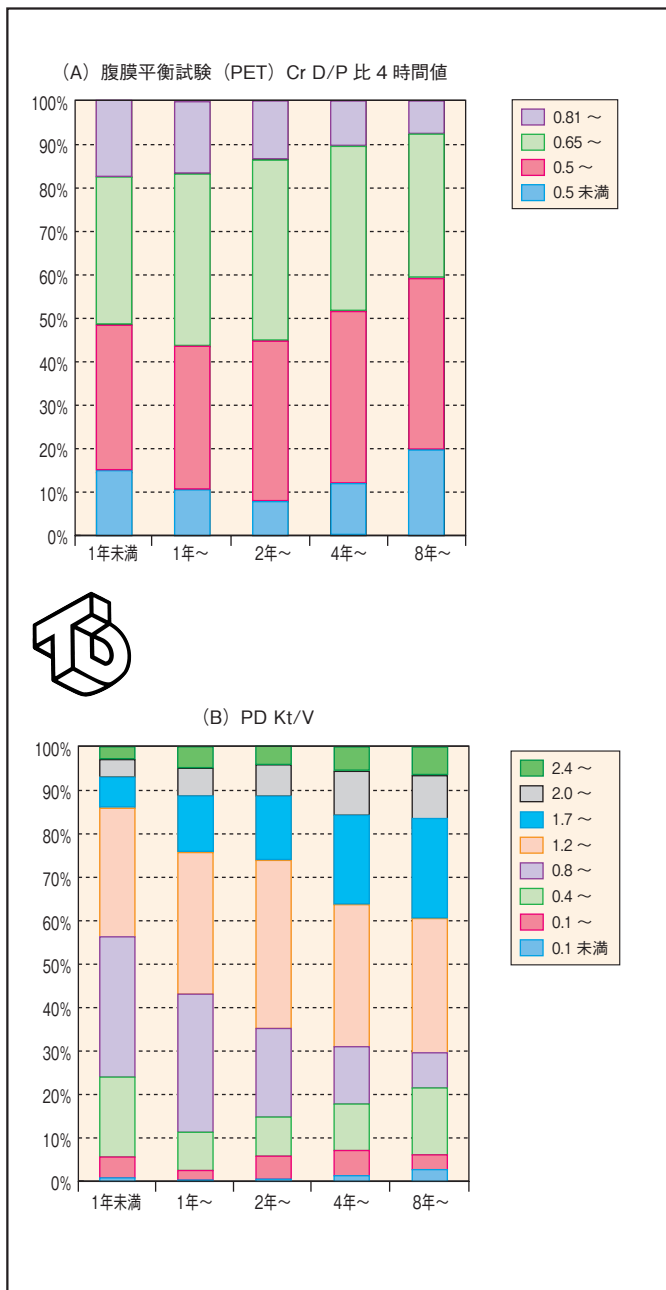


7) 腹膜透析調査

(4) 腹膜透析歴と腹膜平衡試験 (PET) Cr D/P比4時間値 (A)、PD Kt/V (B) (図表41)



PET Cr D/P比	1年未満	1年~	2年~	4年~	8年~	合計
0.5未満 (%)	54 (14.5)	44 (10.5)	52 (7.8)	66 (12.0)	39 (19.7)	255 (11.6)
0.5~ (%)	127 (34.0)	138 (33.0)	245 (36.9)	218 (39.6)	78 (39.4)	806 (36.6)
0.65~ (%)	127 (34.0)	166 (39.7)	278 (41.9)	209 (37.9)	66 (33.3)	846 (38.4)
0.81~ (%)	65 (17.4)	70 (16.7)	89 (13.4)	58 (10.5)	15 (7.6)	297 (13.5)
合計 (%)	373 (100.0)	418 (100.0)	664 (100.0)	551 (100.0)	198 (100.0)	2,204 (100.0)
記載なし	767	517	765	748	336	3,133
総計	1,140	935	1,429	1,299	534	5,337
平均	0.65	0.67	0.66	0.64	0.61	0.65
標準偏差	0.15	0.14	0.13	0.14	0.14	0.14

PD Kt/V	1年未満	1年~	2年~	4年~	8年~	合計
0.1未満 (%)	3 (0.8)	1 (0.3)	3 (0.5)	6 (1.3)	4 (2.7)	17 (0.9)
0.1~ (%)	18 (4.8)	8 (2.2)	30 (5.3)	26 (5.8)	5 (3.4)	87 (4.6)
0.4~ (%)	69 (18.4)	32 (8.8)	51 (9.0)	48 (10.7)	23 (15.4)	223 (11.7)
0.8~ (%)	121 (32.3)	115 (31.8)	116 (20.4)	59 (13.2)	12 (8.1)	423 (22.2)
1.2~ (%)	111 (29.6)	118 (32.6)	220 (38.7)	146 (32.7)	46 (30.9)	641 (33.7)
1.7~ (%)	27 (7.2)	47 (13.0)	84 (14.8)	92 (20.6)	31 (20.8)	281 (14.8)
2.0~ (%)	15 (4.0)	23 (6.4)	41 (7.2)	45 (10.1)	18 (12.1)	142 (7.5)
2.4~ (%)	11 (2.9)	18 (5.0)	24 (4.2)	25 (5.6)	10 (6.7)	88 (4.6)
合計 (%)	375 (100.0)	362 (100.0)	569 (100.0)	447 (100.0)	149 (100.0)	1,902 (100.0)
記載なし	765	573	860	852	385	3,435
総計	1,140	935	1,429	1,299	534	5,337
平均	1.12	1.32	1.34	1.42	1.40	1.32
標準偏差	0.61	0.59	0.65	0.75	0.68	0.66

患者調査による集計

解説

腹膜透析歴 (PD歴) の記載があった5,337例中PET D/PCrに記載のあった2,204例において、PET Cr D/P比4時間値に及ぼすPD歴の影響を検討した。PETカテゴリでHighまたはHigh Averageを呈するCr/D/P比0.65以上の症例の割合は1年未満で51.4%、1~2年で56.4%だが2~4年で55.3%、4~8年で48.4%、8年以上で40.9%と徐々に減少していた。この結果は、経年的に腹膜透過性が上昇するというこれまでの報告と異なった結果であり、今後詳細な検討が必要である。

PD Kt/Vについては1,902例の回答があった。PD Kt/V 1.7以上の割合は1年未満で14.1%、1~2年で24.3%、2~4年で26.2%、4~8年で36.2%、8年以上で39.6%と徐々に増加していた。